

実際に、マイ・タイムラインを作ってみよう

- 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えをいつからはじめるのか、考えてみましょう。

時間経過例	警戒レベル	河川の状況等	行政から発信される情報	わたしの備え
3日前	<b>1</b> 準備・心構え	台風発生 	黒：気象・水象情報 青：河川事務所 緑：市 ○台風予想 ○台風に関する気象情報（随時）	
2日前			◇大雨注意報・洪水注意報	
1日前		台風接近 雨や風が強まる	○台風に関する今後の見通し	
半日前	<b>2</b> 自主避難 (注意の呼びかけ)	川の増水 水位上昇  水位さらに上昇	水防団待機水位到達  氾濫注意水位到達 氾濫注意情報発表 ◇大雨警報・洪水警報 避難場所の開設準備	
5時間前	<b>3</b> 高齢者等避難	水位さらに上昇 雨強いまま 	◇暴風警報  避難判断水位到達  氾濫警戒情報発表 高齢者等避難発令 避難場所の開設 (メール,LINE,Twitter等による周知) 	
3時間前	<b>4</b> 避難指示		氾濫危険水位到達 (メール,LINE,Twitter等による周知) 氾濫危険情報発表 緊急速報メール (河川氾濫のおそれがある情報)  避難指示発令 (メール,LINE,Twitter等による周知) 	
0時間	<b>5</b> 緊急安全確保	川の水が氾濫	氾濫が発生 氾濫発生情報発表 ◇大雨特別警報 緊急安全確保発令	

事前準備

避難行動の検討

避難行動開始

安全確保